

研修参加報告

(会派： 創 世)

<研修目的>

公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会が国内にファシリティマネジメントを普及啓蒙する為に 1987 年に国土交通省・経済産業省、両省で設立された協会。

ファシリティマネジメントはアメリカで生まれた新しい経営管理手法です。

土地・建物・構築物・設備等全てを経営にとって最適な状態（コスト最小、効果最大）で保有し、貸借し、使用し、運営し、維持するための総合的な経営管理活動です。

安来市が昨年から進めている公共施設等総合管理計画を進めるうえで、全国の事例・JFMA の最新事例を研修することにより、将来の街づくり・公共施設マネジメントの進める糧にしたいと思い研修に参加。

<研修概要一覧>

月 日	研修テーマ	会 場	内 容
2018 年 2 月 21 日 ～ 2 月 23 日	JFMA フォーラム 2018 『第 12 回日本ファシリティマネジメント大会』	タワーホール船堀 1 階～5 階 各会場 講演・セミナー会場	21 日、基調講演・特別講演 22 日、基調講演 三菱総合研究所理事長・東京大学総長 小宮山 宏氏 『プラチナ社会の実現と働き方』 公共 FM シンポジウム 『地方小都市における公共施設等総合管理計画の取組みについて・沼田市事例発表』 公共施設 FM 研究部会 FM 財務評価手法研究部会 『ファシリティマネジメントにおける FM の財務評価』 他

			23 日、特別講演 筑波大学客員教授 森民夫氏 〈元、長岡市長〉 『新しい価値を創造した公共建築物 「アオーレ長岡」-企画から管理ま で一貫した総合的マネジメントの 重要性』 建築プログラミンと FM の可能性 三重県庁 安藤 亨氏 『三重県総合博物館整備地の事例』 竜ヶ崎市における施設マネジメントの 実践 JFMA 特別賞受賞 築 100 年を目指すビンテージビル 「冷泉荘」における FM の取組み 吉原住宅 スペース R デザイン 他
--	--	--	---

<研修概要報告>

1. 公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会主催

第 12 回ファシリティマネジメント大会

●場 所 : 東京都江戸川区船堀 4-1-1
タワーホール船堀

●概 要 : 今年度のテーマ : Hello Next 働き方を変える、
まちを変える。

ファシリティマネジメント大会『JFMA フォーラム』は 2007 年から始まり、今年度で 12 回目を迎えた。

今年度のテーマは社会や経営を取り巻く環境が大きく、急激に変化する中で、ファシリティマネジメントを通じ、次世代に向けて考えるべ



きこと、次にやるべきことは何かを考える。産官学など、様々な立場を超え、研究成果や実践、未来に向けた挑戦について情報を共有し、意見を交換し、社会へ働き掛けていくメッセージを発信していく。

＜考 察＞

第12回 JFMA フォーラムでの講演会場・各セミナー会場にて研修に参加しました。特に安来市の共施設等総合管理計画を進めるうえで、将来の街づくり、コミュニティの活動・賑わい・集う為の、あるべき公共施設のあり方を考えるうえで大変参考になりました。官・民の連携が重要であることが再認識出来た研修でありました。特にアオーレ長岡は企画から管理まで一貫した総合的マネジメントの重要性を元長岡市長で現筑波大学客員教授の森民夫氏の講演は街づくりに特化し、市庁舎・体育館・議会棟そして中間にある空間の活用は市民の集いと賑わいの中心とした市街化の形成に役立っている。参考とすべきと感じた。

幸いにも、この度の JFMA フォーラムに市職員が二人参加頂き、ファシリティマネジメントを進めるうえで、様々な取組みをフォーラムの各セッションで幸いにも、この度の JFMA フォーラムに市職員が二人参加頂き、ファシリティマネジメントを進めるうえで、様々な取組みをフォーラムの各セッションで学ばれ、ファシリティマネジメントの幅広く、奥行きを深さを再認識頂いたと思っています。市が保有している公共施設は市民の皆様のものであり、それを市当局が使いやすく機能を発揮できるよう管理運営している事であります。安来市の将来人口を想定するにあたり、どのような機能が必要なのか、どのような人口分布図が想定されるのか、基本的考え方を策定し、そのうえで現在進めている公共施設等総合管理計画を進めていく必要があり、私はその視点での研鑽を積み重ねていきたいと思っています。



以上